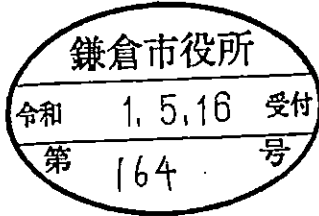


相互提案協働事業 報告書

2019年5月16日

(あて先) 鎌倉市長



住所 [Redacted]
 郵便番号 [Redacted]
 団体名 いろんなカタチ鎌倉
 代表者名 小宅まどか

平成30年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

<p>事業名</p>	<p>発達支援・特別支援教育に関する情報紙の製作事業</p>
<p>事業概要</p>	<p>発達支援・特別支援教育に関することや、多様性を尊重することの大切さを、自然なかたちで理解・啓発するために、すべての親子と子どもに関わる大人を対象にした情報紙を製作し、市内のほとんどの子育て家庭に届くよう広く配布した。 年2回発行 (A3 両面二つ折り) 各 20000 部。 配布先—市内小学校・中学校・保育園・幼稚園・こども園・小規模保育施設等。行政センター・図書館等の公共施設など</p>
<p>市担当課</p>	<p>発達支援室、障害福祉課、教育指導課</p>
<p>事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)</p>	<p>開始 平成30年6月8日 ~ 継続 ○ 終了</p>

<p>協働の形態</p>	<p>【協働事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙に掲載する内容の取材及び調査 ・ 情報紙の執筆、編集及び校正 ・ 情報紙の印刷 ・ 情報紙の広報に際するホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙に必要な情報提供及び取材への協力 ・ 情報紙の校正 ・ 情報紙の内容確認 ・ 情報紙の広報及び配布 ・ 情報紙の広報に際するホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用
<p>事業費</p>	<p>300,000 円</p>
<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p><達成できた点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「いろんなカタチ新聞」1号・2号を各 20000 部発行及び配布。 ・ 読者参加型や表現の工夫をし、関心を持てる内容になるよう努めた。 ・ 庁内の各担当課の相談窓口を、市民目線で身近に感じられるように表現した。 <p><達成できなかった点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1号の発行予定が大幅にずれこみ、配布が遅れた。
<p>成果・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どものいるほぼ全家庭の家族の誰かに届いた。 ・ 新聞の反響 ※アンケート参照 ・ 団体に入る反響 ・ 3課に入る反響 ・ 市外にも反響 ・ 紙面告知により発達支援室主催の講座の申し込みが増加 ・ 団体と3課が連携し、課題や問題を解決し、効率よく事業をすすめることができた
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1号発行までは、3課との関わり方に戸惑いがあったが2号からは改善。 ・ 1号発行の際、3課との打ち合わせや校正に時間がかかったが、2号からは、定期的に各課と打ち合わせや4者会議を効率よく行なった為、予定通り発行できた。 ・ デリケートなテーマなので、表現の工夫や読み易さを重視し、予想外に製作時間を要した。

今後の展望	本協働事業を引き続き行うことで、今後も市民と市が双方の強みを活かしながら、発達支援や特別支援教育が必要な子どもとその周辺の大人たちに対して、安全で安心な環境をつくるための情報を提供し、寛容で誰もが暮らしやすい社会づくりに寄与していきたい。
-------	---

- 添付資料
- ①「いろんなカタチ新聞」1・2号
 - ②新聞配布先一覧
 - ③1号・2号アンケート

収支決算書

単位：円

科 目	予算金額	決算金額	比較増減	備 考
I 収入の部				
市からの協働事業負担金	¥300,000	¥300,000	¥0	
収入合計 (A)	¥300,000	¥300,000	¥0	
II 支出の部				
(1) 人件費	¥171,600	¥171,600	¥0	
内訳				
企画編集会議	¥111,600	¥111,600		●1号あたり 4人*3日*5時間*930円を2回
レイアウトデザイン	¥20,000	¥20,000		●1号あたり 1人*2日*5000円を2回
記事執筆	¥40,000	¥40,000		●1号あたり 2人*10000円を2回 (取材等交通費・通信費込み)
(2) 印刷費	¥123,440	¥123,656	¥216	計40,000部
内訳				
印刷費	¥123,440	¥123,440		●A3サイズ両面1色印刷 1号あたり20,000部¥61,720-
振込手数料	¥0	¥216		(二つ折り加工¥10,870-含む) を2回
(3) 消耗品費	¥4,960	¥5,157	¥197	
内訳				
プリンターインク		¥1,790		
作業用品		¥1,812		
コピー代		¥1,555		
支出合計 (B)	¥300,000	¥300,413	¥413	
収支差額 (A) - (B)	¥0	-¥413	-¥413	

いろんなカタチ新聞 配布実績(1号:20000部あたり)

1. 教育指導課 (配布確保数:11000部)

配布先	配布数
教育指導課・教育センター・予備	204

	配布先		配布数
	番号	校名	
小学校	1	第一小	655
	2	第二小	417
	3	御成小	486
	4	稲村ヶ崎小	200
	5	腰越小	355
	6	深沢小	680
	7	小坂小	558
	8	玉縄小	501
	9	大船小	438
	10	山崎小	614
	11	今泉小	401
	12	西鎌倉小	575
	13	七里ヶ浜小	258
	14	富士塚小	258
	15	関谷小	355
	16	植木小	286
公立小学校合計			7037

	配布先		配布数
	番号	校名	
中学校	1	第1中	271
	2	第2中	205
	3	御成中	380
	4	腰越中	316
	5	深沢中	480
	6	大船中	547
	7	玉縄中	585
	8	岩瀬中	469
	9	手広中	306
公立中学校合計			3559

	配布先		配布数
	番号	校名	
養護学校	1	藤沢養護学校	150
	2	鎌倉養護学校	50
養護学校合計			200

2. 発達支援室 (配布確保数:6600部)

配布先	配布数
発達支援室(窓口、星山講座)	100

幼・保	配布先	配布数
	1 市立幼稚園(10園)	2680
	2 保育所等(35施設)	3145
	3 幼稚園類似施設(8施設)	97
幼稚園・保育所等合計		5922

子どもの家(子ども会館併設館)	施設名	配布数
	★1 にかいどう子どもの家	10
	★2 だいいち子どもの家	10
	3 おなり子どもの家	10
	4 いなむらがさき子どもの家	10
	★5 しちりがはま子どもの家	10
	★6 こしごえ子どもの家	10
	7 にしかまくら子どもの家	10
	8 ふかさわ子どもの家	10
	★9 ふじづか子どもの家	10
	★10 やまさき子どもの家	10
	★11 おおふな子どもの家 (旧おおふな第一子どもの家)	10
	★12 おさか子どもの家 (旧おおふな第二子どもの家)	10
	13 いまいずみ子どもの家 (旧いわせ子どもの家)	10
	★14 たまなわ子どもの家	10
	★15 うえき子どもの家	10
	16 せきや子どもの家	10
子どもの家 合計		160

子ども会館		配布数
	1 西鎌倉	80
	2 梶原	80
	3 深沢	80
	4 岩瀬	80
子ども会館 合計		320

3. 障害福祉課 (配布確保数:200部)

配布先	配布数
障害福祉課 窓口	200

4. いろいろなカタチ鎌倉

(配布確保数:2000部)

		配布数	
行政関連 施設	1	子育てメディアスポット	100
	2	ロビー 棚(メディアポケット)	50
	3	腰越 行政センター	20
	4	大船 行政センター	20
	5	玉縄 行政センター	20
	6	きらら 鎌倉	50
	7	きらら 腰越	50
	8	きらら 深沢	50
	9	きらら 大船	50
	10	きらら 玉縄	50
	11	きらら 玉縄分室	50
	12	図書館 中央	30
	13	図書館 腰越	30
	14	図書館 深沢	30
	15	図書館 大船	30
	16	図書館 玉縄	30
	17	子ども相談課	30
	18	子育て支援センター 鎌倉	100
	19	子育て支援センター 深沢	100
	20	子育て支援センター 大船	100
	21	子育て支援センター 玉縄	100
	22	NPOセンター 鎌倉	20
	23	NPOセンター 大船	20
行政関連施設 合計		1130	

	配布数	
	1号	2号
他団体、個人配布など	687	639
各課追加分	50	0

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

(30年度)

担当課名 : 教育指導課 発達支援室 障害福祉課

事業名 : 発達支援・特別支援教育に関する情報誌の製作

市民活動団体名 : いろいろなカタチ鎌倉

評価項目		役割担当		理由	
		市民活動 団体	行政担当課		
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	△	△	3課担当の協働事業という初めての取組みで、当初やり方がはっきりせず、出だしにとまどっていたが時間の経過とともにまとまってきた。
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	△	△	同上
3		事業の協定書の内容は充分であったか	△	△	作業の具体的内容の分担が明確ではない部分があった。協定を結んでから役割分担の確認を行った。
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	△	△	1号では慣れない部分もあり予定よりも発行が遅れたが、2号では経験を活かし、より円滑に進められた。
5		事業は対等な立場で進められたか	○	○	
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	○	○	各号とも狙いや対象者を明確にでき、各課の特徴を活かした作成ができた。
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	△	○	複数課による複雑さはあったが、打合せを通じて各号ともできた。
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	○	○	
9	事業実施結果	設定された目標（評価項目）は達成されたか	○	○	
10		予算の執行は予定通りであったか	○	○	
11		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
12		定められた役割分担は守られたか	○	○	
13		市民サービスは向上したか	△	○	発達支援等に関する情報を、市民目線で分かりやすく表現したことで、認識してもらえた。
14		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	発達支援等に関するテーマについて、市民目線でアプローチができた。
15	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)	(まとめ) 発達支援や特別支援教育に関するテーマを、4者で協働して表現やトピックを工夫する等して、市民目線で身近に感じられるような情報誌を作成できた。引続き、市民と行政の協働ならではの市民目線での情報提供等を行い、誰もが暮らしやすい社会づくりに寄与していきたい。		

各々の評価は 達成：○（10ポイント） まあまあ：△（5ポイント） 不達：×（1ポイント）

備考：理由欄は、別紙で提出しても結構です。

鎌倉市 地域のつながり課 地域のつながり担当
電話23-3000 内線 2311